



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

J R東日本労働組合
発責 情報・宣伝部
2023年 1月23日 No.566

「長野新幹線車両センター業務執行体制の見直し」に関する申し入れを新幹線統括本部に提出！

東日本ユニオンは昨年 12 月 22 日に「長野新幹線車両センター業務執行体制の見直しについて」の提案を新幹線統括本部から受けました。

これまで J R 本体とグループ会社双方で担っていた構内入換業務を、今後は「グループ会社に一括して委託する」としてありますが「水害のような大規模災害時には、J R 本体でも行う可能性はある」「引き続き訓練等は継続していくことも検討している」との回答を席上で受けました。

施策実施後はグループ会社が構内入換業務のすべてを担うことから、経営側から示された認識に基づいて「J R 本体における技術力をどのようにして維持していくのか」などの疑問が残ります。

私たち東日本ユニオンは関係する地方本部や組合員と連携をはかり、1月23日、幹申第3号「『長野新幹線車両センター業務執行体制の見直しについて』に関する申し入れ」を新幹線統括本部に提出しました。



12月22日、新幹線統括本部より提案を受ける

長野新幹線車両センター業務執行体制の見直しについて

<施策の目的>
新幹線車両のメンテナンスを持続的に実施していくため、長野新幹線車両センター業務執行体制の見直しを行う。

・体制変更後はこれまで以上に教育や各種施策に取り組み、車両品質の維持向上と社員の持続的成長につなげていく。

<実施事項>

構内入換計画の見直しに伴い、業務執行体制を変更する

・構内入換計画を見直しにより「機動 B 番 (限定)」を廃止する。
→構内入換はすべてグループ会社 (長野鉄道サービス) への委託業務となる。
・機動 B 番の廃止に伴い、他担当の作業ダイヤにも変更が発生する。

<提案箇所体制>

	現 行			改 正		
	変形等	交代	計	変形等	交代	計
長野新幹線車両センター						
管理	5	1	6	5	1	6
一般	24	8	32	25	7	32

<実施時期>

2023年3月18日 (ダイヤ改正日)

【提案交渉における新幹線統括本部の回答】

- 現行ではグループ会社社員と J R 社員双方の限定運転士が構内入換を行っている。施策実施後はグループ会社の限定運転士だけとなる。より効率的かつスムーズな業務執行体制をめざし、総合的に勘案してグループ会社に委託することとした。
- これまで2名で行っていた作業が1名で可能となる。
- 限定運転士を担う J R 社員の年齢は高くなっているが、新幹線統括本部として近年では新規養成を行っていない。
- 基本はグループ会社の限定運転士が構内入換を行うが、水害などの大規模災害が発生した時には J R 社員が対応することも考えている。
- 限定運転士を担っていた J R 社員の技術力保持は、今後も行っていきたい。

安全でお客様に快適な新幹線車両を提供するために議論していこう！

「長野新幹線車両センター業務執行体制の見直しについて」に関する申し入れ

1. 大規模災害等の発生により構内入換業務を J R 本体で担う場合、どこの箇所の社員が対応するのか明らかにすること。
2. 限定運転士業務を担っている J R 社員の技術力について、施策実施後はどのように維持していくのか明らかにすること。